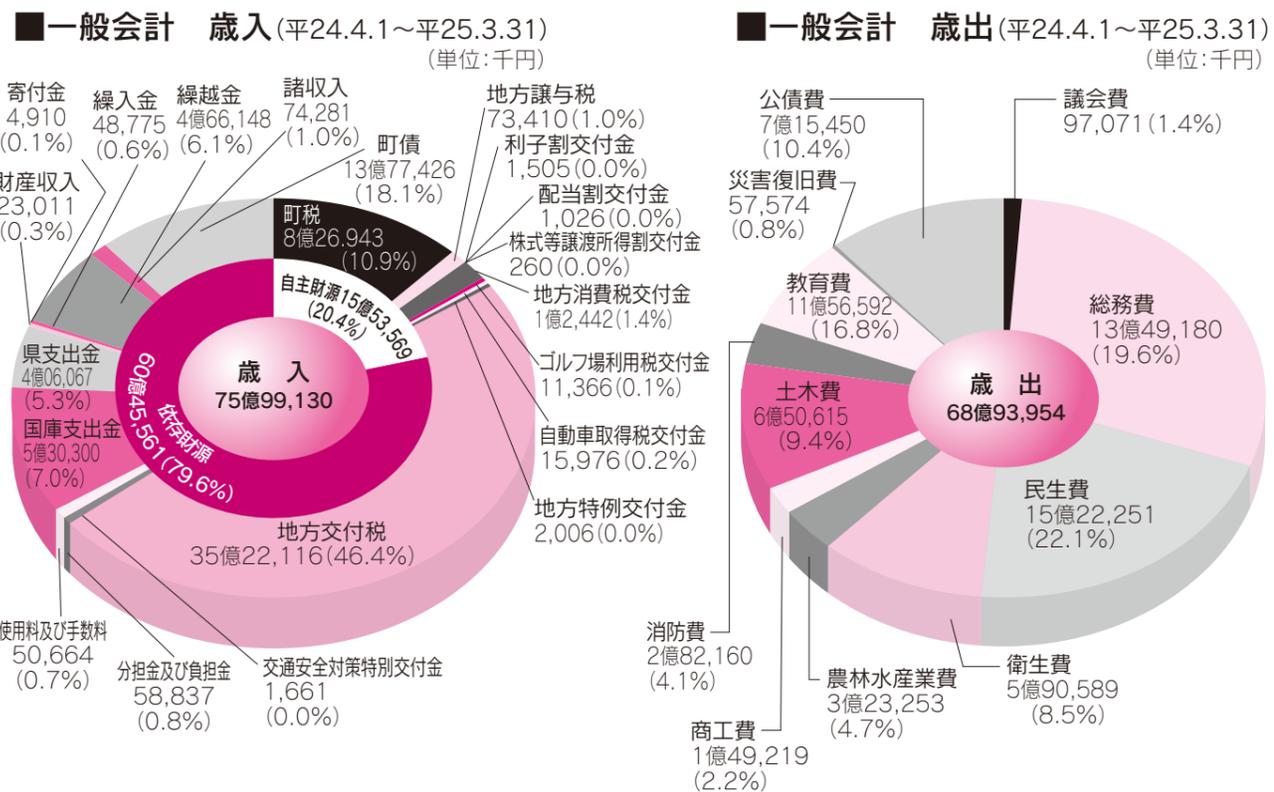


# 千ツク 納めた税金!どう生かされたか?

## 平成24年度 一般会計・特別会計決算認定審査

平成24年度決算認定審査を、9月17日～18日に行った。各常任委員会毎に、各課担当係から説明資料と決算書にそって説明を受けながら審査を行った。議会からの質疑や意見も数多く出て活発な決算審査となった。



■平成24年度歳入歳出決算額 (単位:千円)

会計別	予算現額	決算額		歳入歳出 差引残額
		収入済額	支出済額	
一般会計事業	72億83,995	75億99,130	68億93,953	7億5,176
国民健康保険事業	17億27,996	17億54,814	16億42,865	1億11,948
介護保険事業	15億41,166	15億92,878	14億91,765	1億1,113
特別養護老人ホーム事業	4億64,427	5億30,964	4億55,789	75,175
住宅用地造成事業	5,084	6,842	4,482	2,359
簡易水道事業	39,064	56,762	37,320	19,442
下水道事業	1億8,401	1億16,318	1億2,797	13,521
特定地域生活排水処理事業	84,918	1億3,507	77,753	25,753
春富財産区	281	1,744	132	1,611
後期高齢者医療事業	1億49,696	1億56,436	1億45,555	10,880
合計	114億5,028	119億19,399	108億52,415	10億66,983
特別会計	41億21,033	43億20,268	39億58,462	3億61,806

会計名	予算現額	収益的収支		経常額
		収益額	費用額	
病院	9億37,359	8億74,797	10億71,551	△1億96,754

### 一般会計補正予算

**一般会計補正予算  
7億92,239千円を追加**

平成25年  
**9月**  
定例議会  
報告

総額 **90億19,633千円に増額**

### ■主な補正項目

財政調整基金  
積立金 **756,000 千円**

農業経営育成  
支援補助金 **9,777 千円**

肥後元気村  
精算金 **7,931 千円**

平成25年9月定例議会は、9月11日から9月20日までの10日間の会期で開かれました。本定例会では、24年度一般会計と特別会計決算11件が認定されました。25年度一般会計補正予算7件が可決され、人事案2件が提案され承認されました。

菊水地区、小・中学校の事業費増額を問う住民投票条例案が可決され、一般質問には9名の議員が登壇し、菊水地区学校建設事業等の問題、三加和温泉ふるさと交流センター(株式会社・肥後元気村)指定管理者の件等について執行部の考えを正しました。

# あなたの納めた税金は

## 決算審査・

### 総務文教常任委員会

委員長 古閑 修一

# どのように使われたのか

## 各常任委員会報告

平成24年度の一般会計歳入決算額は、75億9,913万円で歳出総額は、68億9,395万3,708円。尚、通次繰越、繰越明許費繰越額が1,039万3千円となっており実質収支額は、6億9,478万3,637円。歳入の主なものは、地方交付税の33億9,618万円(構成比46%)で、町税は、8億2,694万3千円(構成比10.9%)となっており依然として低い水準となっている。尚、地方交付税については、合併算定替えで5億768万3千円増加しているが、これは平成27年度までの期間で、平成28年度から段階的に減額となる事から今後も厳しいものと予測される。基金については、財政調整基金4億円、合併地域振興基金2億円、災害対策基金4,000万円の積み立てがなされ、年度末現在高で64億475万円。

### 厚生常任委員会

委員長 杉村 幸敏

**健康福祉課**  
平成24年度民生費の予算総額は、15億2,251万1千円で前年度比354万8千円の減となっている。一方衛生費の予算5億9,058万円で対前年比2,352万1千円の減となっている。

#### 保育園費

予算額6,183万3千円に対し6,011万3千円の決算額で前年度決算額6,599万3千円より500万円の減となっている。

#### 社会福祉費

予算額1億12万8千円に対し、決算額9,955万9千円で約2千万円減となっている。

#### 障害者福祉費

予算額2億5,620万2千円に対し、決算額2億3,833万2千円で約1千万円の減となっている。

#### 地域包括支援センター

予算額3,755万1千円に対し、決算額3,625万1千円で約130万円の減となっている。

### 総務課

主な事業として、防犯灯の新設10ヶ所、移設修繕が36ヶ所。耐震性防火水槽7基新設、消防積載車2台整備。

### 税務住民課

町税については、固定資産税と町民税が全体の89%を示しており、町民税が中学生以下の年少控除の廃止に伴い対前年度比12.8%増の3億1,945万円。

### 企画課

主な事業は、太陽光発電設置補助(50件)、地上デジタル共聴施設整備(井川谷共同受信組合)。

### 住宅用地造成会計

歳入総額684万2,405円、歳出総額139万9千円。

### 国民健康保険事業会計

歳入総額17億5,481万4,058円。歳出総額16億4,286万5,477円。単年度収支は、222万6,441円の赤字。

### 後期高齢者医療事業会計

歳入総額1億5,643万6,844円。歳出総額1億4,555万5,892円。

### 児童福祉費

予算額3億487万1千円で決算額3億170万1千円で約400万円の減となっている。

### 保健衛生費

予算額2億7,131万3千円に対し決算額2億6,471万3千円で400万円の減となっている。町立病院会計への繰出金2億2,629万3千円から2億2,198万1千円と400万円程下がっている。

### 予防費

予算額3,327万5千円に対し決算額3,112万8千円で210万円の減となっている。

### 健康増進事業

予算額3,292万6千円に対し決算額3,265万6千円で27万円の減となっている。

### 母子健康事業

予算額993万1千円に対し、決算額920万1千円で73万円の減となっている。

### 社会教育課

主な事業として、公民館図書購入(130万)、下岩官軍墓地修復工事1,155万円(国補)。

### 学校教育課

主な事業として、学校図書購入(1万5,000冊)これは、新しい小学校の為のもので現在保管している。

### 介護保険事業会計

平成24年度は、第5期介護保険事業の初年度の年で、事業介護の決算は、歳入総額が15億9,287万8千円、歳出総額が14億9,176万5千円で、歳入歳出差引残高は1億111万3千円となっている。

### 和水町特別養護老人ホーム事業会計

歳入決算書の主なものは、サービス収入済額4億4,931万円で支出総額4億1,696万円となっている。

### 和水町立病院事業会計

病院事業収益は、8億7,332万円で病院事業費用、10億6,112万2千円となっている。



# 9月議会議案審議採決結果

平成25年9月議会定例会 議案一覧 (町長提出一覧)

議案番号	議案名	審議採決の結果
議案第59号	平成25年度 和水町一般会計補正予算(第4号)	賛成多数原案可決
議案第60号	平成25年度 和水町国民健康保険事業会計補正予算(第2号)	全会一致原案可決
議案第61号	平成25年度 和水町介護保険事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第62号	平成25年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第63号	平成25年度 和水町下水道事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第64号	平成25年度 和水町後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第65号	平成25年度 国民健康保険和水町立病院事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第66号	工事請負契約の締結	原案否決
議案第67号	菊水区域小中併設型校舎建設事業の事業費に関する住民投票条例	全会一致原案可定
認定第 1号	平成24年度 和水町一般会計歳入歳出決算	賛成多数原案認定
認定第 2号	平成24年度 和水町国民健康保険事業会計歳入歳出決算	〃
認定第 3号	平成24年度 和水町介護保険事業会計歳入歳出決算	〃
認定第 4号	平成24年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計歳入歳出決算	全会一致原案認定
認定第 5号	平成24年度 和水町住宅用地造成事業会計歳入歳出決算	〃
認定第 6号	平成24年度 和水町簡易水道事業会計歳入歳出決算	〃
認定第 7号	平成24年度 和水町下水道事業会計歳入歳出決算	〃
認定第 8号	平成24年度 和水町特定地域生活排水処理事業会計歳入歳出決算	〃
認定第 9号	平成24年度 和水町春富財産区特別会計歳入歳出決算	〃
認定第10号	平成24年度 和水町後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算	賛成多数原案認定
認定第11号	平成24年度 国民健康保険和水町立病院事業会計歳入歳出決算	全会一致原案認定
報告第 5号	平成24年度 決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率	報告
報告第 6号	平成24年度 和水町一般会計繰越精算報告	〃
同意第 7号	監査委員の選任	全会一致原案同意
同意第 8号	教育委員会委員の任命	〃

平成25年9月議会定例会 議案一覧 (議員提出一覧)

議案番号	議案名	審議採決の結果
	日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書提出のお願い	採 択
	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情	〃
	道州制導入に反対する意見書提出の要請	〃
	閉会中の継続審査(総務文教常任委員会)	原案決定
	閉会中の継続審査(建設経済常任委員会)	〃
	議員派遣	〃
	閉会中の継続審査(議会運営委員会)	〃
発議第 1号	日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書提出	原案可決
発議第 2号	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書提出	〃
発議第 3号	道州制導入に断固反対する意見書提出	〃

例 :	1件
正算 :	7件
その他 :	1件
算 :	11件
報告 :	2件
人事 :	2件
計 :	24件

## 決算審査・各常任委員会報告

### 建設経済常任委員会

委員長 豊後 力

**経済課** 農林水産業費3億23,253千円。  
 商工費1億49,219千円となり総事業費は4億72,472千円を計上。  
 農業委員会費として、28,030千円、事業としては農地の権利移動、農地の転用、農地の利用状況調査等に係わる費用となっている。  
 農業総務振興費として97,954千円。新規事業として、くまもとふるさと食品ブラッシュアップ事業に150千円の補助、内容は消費者に喜ばれ高く評価が得られるような、くまもとふるさと食品を生み出していくことを目的としており、今年度1団体が菜種・ひまわり油販売に取り組んでいる。  
 新規就農者対策助成金として、1,200千円(6名の就農者に交付)。  
 農業体質強化基盤整備促進事業3,000千円(大藤地区において暗きょう排水事業を20ha実施)。  
 中山間地域直接支払事業費として61,874千円。事業面積、田394ha、畑270ha合計664ha、53集落協定に60,759千円を交付。  
 土地改良事業費として、65,978千円(平成24年度菊水地区農道台帳整備委託費2,730千円・和水町土地改良区補助金6,200千円・団体営ほ場整備事業経費17,014千円)。

県営ほ場整備事業経費35,270千円(和水西部地区及び和水東部地区中山間地域総合整備事業負担金)。  
 農地流動化地域推進事業16,515千円(貸手212名、借手156名、面積580,184㎡)。  
 農地・水・環境保全管理支払事業経費として、4,421千円(向上活動14組織2,761千円・共同活動11組織1,383千円)。  
 林業振興費として、12,568千円(林道維持工事885千円、蜻浦・日平林道)。  
 森を育てる間伐材利用促進事業1,134千円。  
 森林整備地域活動支援交付金事業6,400千円。  
 間伐促進事業補助金2,800千円。  
 商工総務費として1億49,220千円。  
 観光施設整備管理事業9,899千円。  
 町観光協会補助事業2,000千円。  
 古墳祭事業10,316千円。  
 戦国肥後国衆まつり事業4,210千円。  
 グリーンツーリズム推進事業7,852千円。  
 肥後民家村管理運営事業6,714千円。  
 菊水ロマン館施設管理運営事業9,001千円。  
 三加和温泉施設等管理運営事業55,758千円。  
**建設課** 建設関係事業総額は6億50,615千円を計上。  
 土木総務費として37,441千円(行政区58件、団体施工23件)。  
 道路維持費として47,446千円(工

事請負費42,500千円、20カ所の整備事業)。  
 道路改良費総額1億94,466千円、事業として測量設計業務委託5路線、改良工事10路線11,015千円、道路改良工事1億75,100千円、公有財産購入費4,722千円が支出されている。  
 補助事業として用木・米渡尾線に1億30,838千円。  
 住宅管理費として、13,268千円の支出、6団地、36棟、98戸を管理している。  
**特別会計** 簡易水道事業会計は、歳入総額56,762千円(使用料及び手数料19,221千円、繰入金19,818千円、繰越金16,346千円)。  
 歳出総額37,320千円、差し引き19,442千円であり繰入金に依存状況であります。  
 前年度給水戸数446戸、24年度末452戸、6戸増となっている。  
 下水道事業会計については、歳入総額1億16,318千円(繰入金72,213千円)。  
 歳出総額1億2,797千円。差し引き13,521千円となっている。  
 特定地域排水処理事業会計についても繰入金に依存しているが、衛生管理上重要な事業であり加入促進になお一層の努力を望む。  
 浄化槽の整備率は、菊水地区65・6%三加和地区83・5%和水町では74・4%の整備率となっている。

# 陳情等の審査結果

こうなりました！皆さんからの請願・陳情

平成25年9月議会定例会

受付番号	受付年月日	件名	審査結果	付託委員会
61	平成23年5月31日	建設に働く仲間と地域経済を救うルールづくりに関する請願	継続審査	建設経済常任委員会
343	平成25年1月8日	上和仁地区内の農道の一部を生活道路(町道)への格上げに関する要望書	〃	〃
109	平成25年6月21日	日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書提出のお願い	採択	総務文教常任委員会
184	平成25年8月12日	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情	〃	〃
201	平成25年8月23日	道州制導入に反対する意見書提出の要請	〃	〃
209	平成25年9月2日	国宝江田船山古墳出土品展示館の設置等についての陳情	継続審査	〃

## 『議会活性化に向けた取り組み』 高原町・高千穂町視察研修報告

和水町議会運営委員会委員長 小山 暁

和水町議会運営委員会では委員の中に3名、広報委員を兼ねているため、議会運営委員会と広報調査特別委員会合同による視察研修を、8月1日から2日にかけて、宮崎県高千穂町と高千穂町の2町で行った。

今回の視察研修目的は、議会運営委員会の運営状況と議会活性化に向けた取り組みについて現状を視察した。

高原町議会の組織と構成は議員数10名で、各常任委員会は、一般会計予算・決算常任委員会が10人、総務常任委員会が5人、文教厚生常任委員会が5人となっており、議会運営委員会は、副議長と総務・文教科常任委員会正副委員長5名で構成されている。

なお、別途議会改革特別委

員会が、平成23年9月に設置され、現在議会基本条例制定に向けて、年間10回のペースで会議が開かれているが、とにかく町民の意向を尊重し慎重に分析しながら制定にむけての取り組みを進めている。

議会と町長の関係では、町長等の反問権の付与をはじめ議員の審議会や各種協議会への登用についての制限が明確に位置づけられているなど見習うべき点が多々あった。

一方、高千穂町議会の組織機構は、議員定数が14人で常任委員会は、総務産業常任委員会7人と文教厚生常任委員会7人の2つの常任委員会が設置されており、議会運営委員会の委員は5人で、委員の選任にあたっては、あらかじめ議長が議会全員協議会で調整の上、議会に諮って指名す

ることになっている。

一般質問の発言回数は、本町と同じく一問一答方式で、質問時間も答弁含めて1時間の申し合わせとなっている。

高千穂町では、宮崎県では一早く平成21年4月1日に議会基本条例が施行されており、その条例は全文22条からなり、その中の第6条で、議会報告会を開催すると規定されているため、毎年、その議会報告会が町内5校区で開催されている。

地区担当になった議員は、司会進行・挨拶・資料説明・記録まで担当することになっており、説明会終了後は、次回開催に向けての反省点のまとめや要望事項等への対応あるいは、町への報告書提出など全体のとりまとめまで、すべて議員が対応している。



宮崎県高千穂町議会との交流研修

今回2町を視察して感じたことは、選挙で選ばれた議員は、町民の意思を町政に的確に反映させるため、議員同志が協力しあって、町政の最良の意思決定を導くことを痛感させられた大変有意義な研修となった。

# 総務文教所管事務

## 調査報告書

総務文教常任委員長 古閑 修一

視察研修日は、7月16日から7月17日の2日間です。常任委員5名と三加和総合支所長、社会教育課長の計7名が参加しました。

1日目は、宮崎県都城市高崎にある一般廃棄物最終処分場「クリーンコア高崎」を熊本県の環境整備課の4名と合同での研修を行っています。施設は、クローズドシステム処分場となっており、敷地面積は、約4万<sup>2</sup>m<sup>2</sup>であり埋立地については、2つに分かれており、工事の際に発生した土を約1万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>充填して、すでにインドアスポーツ施設として地域に解放しています。もう一方の埋立地が完了した時点で、その土を最終覆土とするそうです。現地を見て驚いたのは、施設と民家が数メートルしか離れていない点です。

今のところ地元からの苦情もないという事で地域との関係の良さを感じた次第です。課題としては、供用開始から8年が経っているが実績搬入量が少なく予定内での埋立完了が困難であるとの事です。

助により平成22年まで保存修理、確認調査、測量、地質調査が行われており、現在も法面の整備がなされています。西都原については、壮大な古墳群はもちろんですが、県の博物館の施設の整備のすこさには目を見張るものがあり感動致しました。他の施設では見られない「地下式横穴古墳」を見せて頂き、説明を受け一瞬古代へとタイムスリップした感じを受けました。

城跡の保存整備については、昭和64年に本丸跡の確認調査がなされ平成2年に市の文化財に、平成8年には県の指定を受け更には、平成12年国史跡として指定をされています。その事から、平成13年に保存整備計画が策定され、国庫補

# 厚生常任委員会視察研修 「佐賀県唐津市厳木町・呼子町研修報告」

委員長 杉村 幸敏

厚生常任委員会は、平成25年7月2日から7月3日の日程で、佐賀県唐津市厳木町の買い物支援サービス「井戸端スクリーン商店」の研修を行いました。井戸端スクリーン商店とは、地域における高齢者や、車の運転ができない人への買い物支援サービスを実施しているもので、仕掛人は地域おこし協力隊の方です。

この井戸端スクリーン商店は、道の駅「風のふるさと館」にある農産直売所から約4km離れた平成23年3月に廃校となった本山小学校体育館を利用した施設です。近隣の利用者は、「風のふるさと館」の売り場から送られる映像を見ながら商品注文し、直売所では担当者が注文を受け、1時間後に注文品をお客さんへ手渡されます。お客さんは、

商品を待つ間、井戸端会議をされているとのこと。当日の参加者は11名で、道の駅売上高1万5千円でした。まだお客さんが少なく、今後さらなる検討が必要との説明がありました。

「宝寿荘」で研修を行いました。昭和55年に開設され、平成16年改築がなされ、全室個室のユニットケア方式を採用しており、老人ホームの定員70名、シヨートステイ10名、職員54名で運営されています。唐津市にはこの特老をはじめ沢山の施設がありますが、この「宝寿荘」を除いてすべて民営であります。この「宝寿荘」も2年後には、民間に移譲することが決まっているとのことでした。最後に、当町の特別

2日目の研修は、旧呼子町唐津市特別養護老人ホーム「宝寿荘」で研修を行いました。昭和55年に開設され、平成16年改築がなされ、全室個室のユニットケア方式を採用しており、老人ホームの定員70名、シヨートステイ10名、職員54名で運営されています。唐津市にはこの特老をはじめ沢山の施設がありますが、この「宝寿荘」を除いてすべて民営であります。この「宝寿荘」も2年後には、民間に移譲することが決まっているとのことでした。最後に、当町の特別



佐賀県唐津市特別養護老人ホーム「宝寿荘」視察研修



宮崎県都城市にある一般廃棄物最終処分場「クリーンコア高崎」視察

# 建設経済常任委員会所管事務 調査研修報告

委員長 豊後 力

建設経済常任委員会では、委員4名、経済課長、支所事業課長計6名にて、7月24日、25日の2日間の日程で、宮崎県高原町の農事組合法人「はなどう」及び、熊本県宇城市松橋町の大寫屋を視察しました。

初日に高原町の農事法人組合「はなどう」の黒木代表理事より詳細にわたり説明を受けました。

高原町は、中山間地域にあり人口は9,620名、総面積85.38km<sup>2</sup>、農地面積166,200aの規模であり「平成の大合併」はしておらず、農事法人、「はなどう」の前身である花堂区集落営農組合（組合員数105名、年会費2,000円）を、平成17年5月に設立されその後、平成20年4月に現在の法人組織

「はなどう」を構成員12名出資金2,000万円内JA90万円にて設立されています。花堂区集落営組合が下部組織となり農事組合法人「はなどう」が事業主体となっており、法人組織化によってあらゆる事業展開や色々な資金活用が出来ることでした。

事業内容としては営農事業で、水稲作付け5ha、麦4ha、大豆2.5ha、菜種2.5ha、作業委託としては、水稲田植19.3ha、刈り取り18ha、麦播種5ha、刈り取り5haさらに6次産業への取り組みとして、直売所や古民家レストランを運営し自社ブランドの地ビール、地酒、小麦を使ったパスタ等の販売で年間1億円を売り上げており、又、行政JAとの連携が非常にうまく機能しています。

さらに補助事業の有効活用等により、有利な事業展開ができると共に、自己資金の軽減を図っておられます。創意工夫の中、如何に実践するかが、リーダーとなる人の手腕と感じ研修を終えました。

2日目に松橋町の通信販売 大寫屋の視察研修を行い、代表者の大島法子さんより説明を受けました。平成4年6月に設立資本金300万円で通信販売（馬刺し、果物、野菜、健康食品など）を行っている。従業員は120名、正社員14名、他はパート社員、売上高は年間14億2千万円、登録会員数33万人、定期会員数13,590名で月3,500万円から4,000万円の売り上げ。

事業方針は直接農家150戸以上と契約し取れたて新鮮

な物を佐川急便が直接農家におもむき発送、2日後には消費者へ届ける。農家直送である為、農家と消費者の信頼関係が最も重要な事でした。クレームについては、すべて大寫屋にて対応している。農家への販売代金については、毎月2回振り込み、流通コストを下げることに農家への還元が大きくなり安定した農業生産ができる。新たな取り組みとして、鮮魚も試験的に取り扱っており、素材の提供だけでなく一品ごとの料理のレシピを添付されていました。

高め地域社会に貢献していると自負されています。今回の研修は農事組合法人と、農家との一体感を持つ通信販売企業の研修となりましたが、獨創性を持った取り組みや係わりをもつ地域の方々の努力に想いをはせ今回の研修報告といたします。



宮崎県高原町農事法人組合「はなどう」視察研修

## 視察研修報告

### 『町民に読んでいただく議会広報』

和水町議会広報調査特別委員長 小山 暁

和水町議会広報調査特別委員会では、8月1日から1泊2日の日程で、宮崎県高原町と高千穂町2町を訪問、両町の議会広報発行状況と現状・課題等について、情報交換と交流研修を行った。

初日の高原町では、定例会毎に年4回発行、発行部数は3,000部で、発行月の1日又は15日の区長便で配布しており、記事・掲載内容は、定例会の一般質問をはじめ臨時議会に関する記事や委員会に関する記事、請願陳情・所管事務調査に関する内容などが主な掲載内容となっており、編集から発行までの手順は、議会終了後、事務局で一般質問の議事録を作成し、質問者に一般質問を要約したものを700字以内で、一人1ページにまとめ、すべての記事を

含めて、48日以内で発行。

編集委員会では、特に一般質問の点検やレイアウトなどの構成や企画に重点を置き、校正作業に時間をかけ、ページ数も10ページから12ページの表紙・裏紙ともにカラー刷りで、年間予算64万3,000円となつている。2日目の高千穂町では、同じく年間4回発行で、発行部数は4,800部。ページ数は、10ページから22ページで、年間予算は153万3千円で、一部あたり68円。表裏紙ともにカラー刷り。

高千穂町議会では、住民に身近な議会を目指すために、議会広報活動に特に力を入れており、町村議会広報全国コンクールで、7年連続入賞するなど素晴らしい成績を納めており、編集作業も、発行ま

で委員会を平均7回開催しており、その充実ぶり何えたとつており、編集心得として『作文を作るのではなく事実としての記事を要約する』との言葉が、強く印象に残っている。

今回高原町と高千穂町両町の議会広報活動を視察して感じたことは、広報に対する思い入れが特に強く、考え方の共通点は、議会の活動状況を広く住民に知らせることと『町民に読んでいただく、分かりやすい記事』を基本に編集されていることそのものが、町政に関心をもつてもらうきっかけづくりになっていることを示唆してもらい大変意義ある視察研修となった。



宮崎県高原町『議会広報』交流研修

# ズバリ!聞きます



杉本 和彰議員

## 自死等での不信をどのように信頼回復されるのか?

[教育委員長] 学校では命の大切さを考える。

**問** 自死等での不信をどのように信頼回復されるのか。

**答** (教育委員長) 学校では命の大切さを考えるというのをもうける。「いじめ・不登校未然防止委員会」にスクールカウンセラーと心の教室の先生方を有効に活用して撲滅を目指す。教育委員の資質の向上も考え専門的またそのための方策などお互いに研修する。

**問** 三加和は外部にコンセントがない。黒板が固定式であるが。

**答** (学校教育課長) コンセントがないのは聞いている。建設の方に依頼した。黒板が使いつらい。なんでそうなったかで困っており申し訳ない。

**問** 早急な対応を求める。県のアートポリス班は教職員との打ち合わせの元に設計書は出来上がったと認識されています。違うようだが。

**答** (学校教育課長) ほとんどの先生方にワークショップを開きできる分、できない分を説明している。各学校単位で取りまとめ報告を受け、合成了のが現在の計画と考えています。

**問** ある自治体では副読本とか練習帳等は公費で行っているが。

**答** (学校教育課長) 標準服を導入しますし入学祝金とかは費目で対応すべきと考えている。

**問** 1、避難所の耐震化。2、太陽エネルギー発電と

**問** 環境省の基金を使えば公共施設の非常用電源は100%補助です。そのような補助を調べ早めにやっていた方がいいが。

**答** (町長) 県などの取り組みに関しては職員が早く取り組んでいくことによってはいろんな面でモチベーションがあがると理解する。

**問** 地域還元。3、小水力発電の課題と解決策について。

**答** (総務課長) 学校統廃合により取り壊し予定の体育館については随時避難場所の見直しを進めていく。公民館の耐震化は支援を検討していく。

**答** (企画課長) 各避難所への自立分散型電源の整備については国・県の補助事業の活用を含め検討する。



古閑 修一議員

## 学校建設に関する公約は何だったのか!

[町長] 限りなく36億円になるよう努力する。

**問** 三加和地区の進捗状況について伺う。

**答** (建設課長) 平成24年12月に校舎及び体育館の建設に着手。現在は、校舎の敷地造成3期工事をしてい。又、中学校の校舎改修と給食棟の改修に着手している。それから、早急にプールの事業計画を作成し整備を行う。又、野球場の砂の入れ替え工事を9月末発注する予定であり、来年4月開校に支障はない。

**問** 菊水地区の学校統廃建設について、増額しての建設について住民説明会をされたが説明会を終えての町長の考えを伺う。

**答** (町長) 造成工事、建築単価の見込み違いにより、当初計画の36億円から39億円

**問** 3回に渡る説明会に於いても住民の理解は得られていないと考える。議会との公約である事業費36億円について、町長は、それに近い数字を出すよう努めると言われるが、その裏付けは何もない。根拠のない事を言われても理解できない。

**答** (町長) 目的を変えての増額ではないので理解を願う。

**問** 町民の方々が心から喜べる、子供たちが安心して通える学校作りをしたいと

いう思いは皆一緒だと考える。百年の大計ともいえる大事業である事を考えれば、今一度町民の方々の民意というものを確認してはどうかと思う。菊水地区については、執行率18%という事を考え、町長の英断を望む声も多いので考えを伺う。

**答** (町長) 民意を問うという事はどういう事なのか。36億円で終わる努力をするので時間と猶予を頂きたい。その他の一般質問は、次の通り。

◎三加和温泉交流センター及び緑彩館の今後について



小山 暁議員

### 地元住民説明会で 住民とのコンセンサスは 得られたのか?

[町長] 合意は得られなかった。

**問** 先の6月定例議会で『菊水区域の最終予算総額は、39億6千万円の枠内で執行できる』と答弁があったが、今回7月27日開

**答** (町長) 住民との合意は得られなかった。総括と結果については、別冊4号を通じて、自分の考え・思いを述べた。今後の事業推進については、限りなく36億円に近づける努力を真剣に取り組みたい。

**問** 住民の要望によって開催された菊水区域の地元説明会が3回にわたり実施されたが、住民とのコンセンサスは得られたのか?又、その住民説明会の総括・結果について、どう受け止めているのか今後の事業推進と併せて伺いたい。

**問** 公約であった菊水区域の総事業費36億円が反故にされたことで、改めて住民の信を問う必要性があると思うが、住民投票を実施する考えはないか、町長の考えを伺う。

**答** (町長) 当初の36億から3億6千万増の39億6千万円になった理由は、事業量の拡大によるものであり一方44億2千万円は、あくまでも関連事業として第二グラウンド完了後の事業費見込み額を示したものである。

**問** 催の2回目の住民説明会では、関連事業を含めて総事業費44億2千万円になるとが明らかになったが、その真意と矛盾点について町長の考えを伺う。

**答** (町長) 住民に問う論点・争点が整っていないので、現時点での住民投票は考えていない。

**問** 今後の事業推進に当たっては、とにかく慎重に、判断を間違えないよう厳しく対応してもらいたいと思うが、議会で承認した36億円は、結局反故にされてしまうのか。

**答** (町長) 現時点で『そうします』と断言はできないが、しばらく時間の猶予をいただきたい。



豊後 力議員

### 学校建設総事業費 39億6千万円説明責任は?

[町長] 十分な説明のもと町民へ理解を求める。

**問** 財政の現状と今後10年間の見通しについて伺う。

**答** (町長) 平成24年度歳入歳出決算審査意見書に基づき審査意見が述べられており、おおむね良好であると報告を頂いている。

**問** 学校建設に伴う総事業費額と返済計画等について伺う。

**答** (町長) 事業費として36億円から39億6千万円に算定している。交付税措置をコントロールしながら町の収支が整うようしっかりと考え取り組んでいく。

**問** 菊水区域小中一貫教育に係わる新設事業費と菊水中央小学校・菊水中学校の依存施設を活用した場合の費用負担割合について伺う。

**答** (学校教育課長) 菊水中央小学校と菊水中学校の耐震補強の組み合わせで当時24億7千万円と聞いています。(補助見込み額5億8千9百万円、起債額17億5千9百万円、一般財源1億3千5百万円) 番城グラウンド周辺の場合39億6千万円(補助見込み額11億7千1百万円、起債額24億9千3百万円、一般財源2億9千6百万円)となる。



高巢 泰廣議員

### 学校建設で、住民税の増加や他の事業の停滞があるのではとの心配があるが!

[町長] 増税には繋がりはない。

**問** 「36億円で事業が完了するよう設計変更は出来ないか」との提案に「出来ない」との答弁であったが、なぜか!

**答** (町長) 意見等は、しっかり受け止めている。合併前旧菊水町議会特別委員会と統合法について協議をスタートされ、今日迄審議会・委員会等々を重ねて今に至っている。三加和地区は来年開校、菊水地区は3億6千万円増額見込みとなり今回の説明会となった。議決を得ている36億円で近づき努力、又、将来負担は出来る限り減少する様努力する。

**答** (総務課長) 平成28年度迄、建設事業費が増加する。償還金が26年度より発生するが、基金等を充当し公債費の抑制を図る。基金は41億円積み立てているので健全な財政運営に努力する。

**問** 町税負担が増えるとの心配がある。今後の財政見通しはどうか。  
**答** (町長) 事業推進によつて増税には繋がらない。

**問** 学校統合法案説明会で多数の意見・要望が出たが町長はどう受け止めたか。  
**答** (町長) 意見等は、しっかり受け止めている。合併前旧菊水町議会特別委員会と統合法について協議をスタートされ、今日迄審議会・委員会等々を重ねて今に至っている。三加和地区は来年開校、菊水地区は3億6千万円増額見込みとなり今回の説明会となった。議決を得ている36億円で近づき努力、又、将来負担は出来る限り減少する様努力する。

**問** 他事業が停滞するのではないか。  
**答** (町長) 社会資本の整備等に関して、全く影響なしとは言えない。学校建設費3億6千万円増加するが、町が支出する資金は当初計画比1億9千万円少なく済むことを特集4号で説明している。



笹刈 賢吾議員

### 三加和小学校は建設したが問題が7点ある、開校前に改善を!

[町長] 7点は教育課長にメモをさせたので現場と話をして対応させたい。

**問** 三加和小学校は見に行かれたか。建設して問題はないか。

**答** (町長) 1回は建設道路促進期成会の皆さんと現場を見た。一部危険な箇所は手直した方がいいという声も聞いている。

**問** 学校を見て校舎建設の問題点を7点指摘する。  
1、校舎玄関を入るとセンサーで電気がついたままなので手動式のスイッチに切り替えないと電気代が高つく。  
2、黒板が固定化されているので小さな子供は半分からは届かない。今までの小学校はスライド式で上下に移動していたのでそれを春休み中に取り替えるべき。  
3、教室の外に縁側があるため屋根は長い。教室は板壁が多くガラスが

**答** (町長) 7点のご指摘は教育課長にメモをさせたので現場と話をして対応させたい。

少ないため朝から暗く電気をつけなければならぬ。  
4、スロープの鉄柵はむき出しでその下は空間なので子供たちが走り回り鉄柵でケガする危険がある。  
5、教室に空気口がないためインフルエンザが流行すると蔓延してしまふ。  
6、校長室は横畳2畳×縦4畳から5畳ぐらいで細長く狭い。来客用のいすは奥にあり校長先生の机はその手前。せっかく来られる先生の環境が悪い。隣の廊下も校長室にすべき。  
7、ミニ体育館は中学校の体育館と同じでガラス戸がなく風通しが悪く夏場は暑さで蒸れる。スポーツをやるには悪い環境である。

**問** 8月17日の菊水地区町民説明会で司会の総務課長が今日は10時までで終わりますと断ったが、町民の質問に答えられない状況が続き、町長は9時半ごろ急に「住民投票でも解職請求でもやってく下さい」といってその場を立ち去ろうとしたが、なぜこういう行動に出たのか。町民に失礼ではないか。  
**答** (町長) 町民説明会は3回目で和水広報4号に関しては、もう十分説明を果たしたという認識だったが、それに理解できない状況があった、また多くの方々に遅くまでご迷惑をかけることを心苦しく感じたのでそのような行動をとらせていただいた。30分前の行動を取ったことはこの場をお借りし、議員、傍聴の方々も含めお詫びしたい。

# ズバリ!聞きます



蒲池 恭一議員

## 学校建設に懸ける思いは？

[町長] 早く複式学級の解消をしなくてはいけない!

**問** 学校建設に懸ける思いを伺う。

**答** (町長) 菊水地区においては合併(平成18年3月)以前から取り組んでお

**答** (町長) 学校建設について、4回にわたり説明会をした、特に菊水地区において再三厳しい意見・要望があり、よって新聞記事記載となり大変町民の方々に混乱、迷惑をかけ、ご心配を頂いておることに関して申し訳なく感じている。

**問** 学校建設の増額についての町民説明会が三加和地区において1回、菊水地区において3回行われたが、これで町民の皆さんにご理解が出来たと思われるのか伺う。

**答** (町長) 学校建設について、既に複式学級が7学級(東小学校3学級全学年、西小学校2学級4学年、南小学校2学級4学年)あり、早く複式学級の解消をしないでいけない、集団の中で育む教育、学校を統合し、小・中連携によって、子供たちの発達段階に応じた教育ができる、そういう基本的な目標を持って今日まで歩んで来ている。

**問** 6月(平成25年)の定例会の折、三加和中学校の野球グラウンドの整備について質問し、早急に対応するとの答弁を頂いているが、進捗状況について伺う。

**答** (建設課長) 早急な整備が必要であるとの提案を頂き、6月定例会終了後、現場調査等を行った結果、

**答** (教育委員長) 8月22日に教育委員会へ退職願が出され、本人の意思を尊重して、辞職の同意をした。今後は教育委員自らが、学校や地域に向き、生の声を聞きながら、早期の課題の発見・対応、そして解決に向けて努力する。

**問** 教育長の辞職に伴う見解、今後の教育委員会のあり方について伺う。

生徒の安心・安全な学校活動を確保するために、早急な整備が必要であると再認識をした。よって9月30日に入札を行い、10月から着工する予定である。

## 光ファイバー通信網整備事業の進捗状況は？

[町長] 来年10月サービス開始に向けて事業を推し進めている。



中村 一博議員

**問** 町民にどのようなサービス運用を考えているか。

**答** (企画課長) NTT西日本の光回線を利用したサービスは約200社のプロバイダーから選択できる。サービスはすべて有料であり、個人の意思で加入することが前提になっている。町民へのサービス内容はインターネットのほか光電話サービスや光ブックが主に考えられる。

**問** 企業誘致支援対策はどのように考えているか。

**答** (企画課長) 今回の光ブロードバンド基盤整備事業は、情報格差を是正することを目的としている。町内全域で回線を利用でき、地域経済・産業に対応する安全で快適な住民環境を構築する。町内既存企業から

要望が以前からあっており、それに応える整備事業である。企業誘致に向けた支援策は今のところ考えていない。

**問** インターネット接続サービス導入推進での助成の考えはないか。

**答** (企画課長) インターネット接続サービスをうけるには、回線使用料とプロバイダー利用の費用がかかる。インターネット接続サービスの加入推進については、開局予定の約2カ月前から町民の方々への説明会を開催する。その際前段として全体説明会と個別相談会の二部で行い個人のニーズに合った加入ができるよう推進を図っていく。助成については今のところ考えていない。

**問** 光電話とかテレビ電話

などを独居老人・高齢者宅に設置すれば介護等に役立つのではないか。

**答** (健康福祉課長) 今現在、緊急通報装置を独居老人宅に付けているが、光ファイバー通信網が整備されればいろんな活用を考えていく。

**問** 高齢者や独居老人宅には設置・利用費用が負担になることから、町で負担してはどうか。

**答** (町長) 今回の事業に関しては、企業の維持管理に任せる事なく、関係各課において利用方法を前向きに考えさせます。

その他の一般質問は、次の通り。

◎2学期制から3学期制にかえる考えについて